

特別連載II

科学技術
振興機構

『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第248回

※現在、さくらサイエンスプランは新型コロナウイルスの感染防止のため、今年度のプログラムの実施を延期しています。

鹿児島大学の活動報告



西谷佳浩
(鹿児島大学
学術研究院
歯学域歯学系教授)

台湾・高雄医科大学から招へい
歯科材料で繋ぐアジアの医療科学

鹿児島大学歯学部は、2020年1月20日(25日)にさくらサイエンスプランの支援により、部局間学術交流協定校である台湾・高雄医科大学から、歯学部学生(男性5名、女性1名)の訪問を受け入れました。

本学部と台湾・高雄医科大学歯学部とは、部局間学術交流協定のもと例年、学生の相互交流を行っておりますが、今回はさくらサイエンスの支援のもと、台湾の学生に対して本学歯学部での講義・実習への参加、本学大病院の見学、歯科材料・機器の開発・製造販売を行うグローバル企業の見学など、多岐に渡る密度の濃いプログラムが実施可能となりました。

本学歯学部での講義・実習では、本学学生と肩を並べて参加してもらい、聴講だけでなく、グループワークを実施するなど、学生間



国際医療人育成学でのグループ発表



歯科保存学模型実習でのグループワーク

所2社を訪問しました。台湾には歯科材料の製造工場が存在せず、歯科材料の最先端の技術を見学し、体験実習を行うことは台湾の歯学部生にとっては未知の体験であり、歯科材料分野に対する理解を深めることで、日本の歯科・歯学に対する更なる興味を強めることが出来たように思われます。帰国の前日には本学歯学部長をはじめ、学生教育、国際交流

| プログラム | |
|-------|---|
| 1日目 | 到着開会式 オリエンテーション |
| 2日目 | 授業参加(グループワークを含む) 病院見学実習 |
| 3日目 | 京都での研修(京都国立博物館) |
| 4日目 | 歯科材料の研究所・工場および 最先端教育用シミュレーターの見学 |
| 5日目 | 特別講義 (鹿児島大学における最先端研究紹介) 報告会・修了式・送別会 |
| 6日目 | 帰国 |

の活発なコミュニケーションが図られました。歯科の学業だけに留まらず、お互いの趣味や、日本の好きな点・嫌いな点などを語り合い、相互理解を深めました。

本学大病院の見学では歯周病科、矯正歯科、口腔外科の外來等で診療の見学を行い、講義・実習だけでは学ぶことができない、実際の診療の現場における台湾と日本の歯科医療の類似点、相違点等を改めて認識しました。また、大学を飛び出し、京都へ1泊2日の短期研修旅行も実施しました。京都においては歯科材料・機器の開発・製造販売を行うグローバル企業である、(株)松風、(株)モリタ製作

を推進する委員会の委員長も参加し、研修成果報告会および意見交換会、修了式を実施しました。招へい者1人1人からの発表のあと、歯学部長より修了証およびバッジが授与され

ました。これをもってプログラムが無事に終了し、本学歯学部と台湾・高雄医科大学歯学部との関係も、より濃いものにする事ができました。

プログラムの成果

今回の研修を振り返りますと、大学教員同士の研究活動においては、2015年にはすでに共同研究が開始されて交流が行われていましたが、その後に授業として学生海外研修が可能となり、お互いの大学を学生が訪れて

として世界に進出する夢を持っていることなどに対して尊敬すると同時に、大きな刺激を受けたことで、自身の今後の学修に対してこれまで以上に意識が高まったと述べています。また、台湾の学生からは、鹿児島大学で沢山の楽しい仲間と出会えて、数えきれないほどの思い出が出来たことや台湾に帰国してからは今まで以上に熱心に日本語を勉強するようになった、という微笑ましいエピソードや、必ず日本をもう一度訪問するという熱いメッセージも受け取りました。

本学の台湾を訪問していない多くの学生にとっても、海外からの留学生との母国語以外でのコミュニケーションは非日常的な経験でした。引き続き、今年度も同様の海外研修が計画されて、学生たちの受け入れを私たちも楽しみにしていましたが、新型コロナウイルス感染症防止のために、中止に。現地訪問ではない形での交流について、急遽相手校の担当者とも協議を重ねて、今年度はオンライン交流を実施することになりました。



大学病院の見学

現地訪問ならではの研修成果を得ることが出来るようになっていきました。研修を終えた本学の学生は、台湾の歯学部では英語だけでなく日本語も話せる学生が多かったことや、卒業後の進路

今後の展望

今後は継続的に双方の現地訪問型の海外研修を更に進めていきたいと考えています。その中には、これまではまだ十分には取り組んでいない現地訪問前の「事前交流」も含めていきます。すなわち鹿児島大学を訪問する学生は、訪問前に本学の学生と主にオンラインで交流を重ねており、実際に日本に滞在できる短い時間をこれまで以上に充実させられるプログラムとなつていきます。先述の今年度のオンライン交流が、まさに「事前交流」も兼ねた初めての試みとなります。最後に、本事業の実施にあたり、お世話になりました関係者の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

修了式



グローバル企業における最先端の技術研修

最後に、本事業の実施にあたり、お世話になりました関係者の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。